

事務連絡
令和8年 8月 28日

都道府県下水道担当課長
政令指定都市下水道担当部長
（上記、各地方整備局等経由）
市町村下水道担当部長・課長
（上記、各都道府県経由）
日本下水道事業団事業調整課長
都市再生機構下水道担当課長

殿

国土交通省水管理・国土保全局
上下水道企画課
管理企画指導室企画専門官
下水道事業課
事業マネジメント推進室課長補佐

下水道セーフティネット NO. 297 について
（令和8年7月分）

1. 維持管理作業事故

令和8年7月は1件（死亡：0件、負傷：1件）の事故報告があり、昨年の同時期と比べると6件減少しました。

維持管理事故の例として、下水道本管清掃作業中、封水破封事故防止のため清掃スパン隣接の家屋にある最終桧の蓋を外したところ、最終桧の解放部養生がカラーコーンのみであったため、近隣住民が清掃作業に気を取られ、解放された最終桧に気づかずに足を落とし転倒、負傷した事故が発生しました。

2. 工事故

令和8年7月は9件（負傷：4件、物損：5件）の事故報告があり、昨年の同期間と比べると2件減少しました。

工事故の例として、簡易土留めを設置し、2段目設置の前に掘削内部に入り支障物の除去を行っていたところ、土留め設置前の上段部分より土砂が崩落し、作業員に当たる事故が発生しました。

3. 水質事故等

令和8年7月は2件（水質事故：2件、その他案件：0件）の事故報告があり、昨年の同時期と比べると7件減少しました。

水質事故の例として、圧送管に設置されている空気抜き弁が経年劣化し、空気吐出口から汚水が流出する事故が発生しました。

4. 発生事故を踏まえた今後の対応について

令和8年5月20日付で発出した「下水道管路等内作業における安全確保の徹底について」（令和8年5月20日付事務連絡）も踏まえ、下水道管路内作業においては、作業者の安全性を最優先し、換気や転落防止などの安全対策を十分に実施する

ことを改めて徹底し事故の未然防止に努め、施設の運転管理や保安全管理を適切に実施していただきますようお願いいたします。

また令和8年8月5日付で発出した「下水道工事における鋼製ケーシング浮上事故と再発防止に向けて」（令和8年8月5日付事務連絡）や令和8年8月27日付で発出した「下水道工事（泥濃式推進工法）における適切な施工及び安全対策の徹底について」（令和8年8月27日付事務連絡）も踏まえ、各下水道管理者におかれましては、事故が未然に防止されるよう、下水道工事における適切な施工及び安全対策の注意喚起を徹底していただくようお願いいたします。

※ 下水道の維持管理に関する事故、工事現場で事故が発生した場合には、原則各地方整備局等の担当まで報告をお願いします。また、重大な事故の場合は、本省及び各地方整備局の担当まで同時に報告をお願いします。

※ 下記のＨＰにて掲載している、下水道セーフティネット、事故データベース、通知等を活用していただき、事故の未然防止に努めていただきますようお願いいたします。

HP：https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000005.html

※ 厚生労働省の下記のＨＰに労働災害事例が掲載されていますので、事故の未然防止に活用いただきますようお願いいたします。

HP：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SAI_FND.aspx

（担当・問い合わせ先）

国土交通省 水管理・国土保全局

上下水道企画課管理企画指導室（維持管理事故（水質事故等含む）担当）

平野：hirano-h2ia@mlit.go.jp

大内：ouchi-m8310@mlit.go.jp

TEL:03-5253-8428（直通） FAX: 03-5253-1596

下水道事業課事業マネジメント推進室（工事事故担当）

田中：tanaka-y2an@mlit.go.jp

椿野：tsubakino-s2m8@mlit.go.jp

TEL:03-5253-8431（直通） FAX: 03-5253-1597

令和 8 年度
下水道に関する事故発生状況について
(令和 8 年 7 月末時点)

1. 人身事故（総括）
2. 維持管理作業事故
3. 工事故
4. 水質事故等

国土交通省 水管理・国土保全局
上下水道企画課
下水道事業課

1.人身事故(総括)

(令和8年7月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度 合計
維持 管理 作業	1. 死亡事故	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)									1 (1)
	2. 負傷事故	3 (1)	0 (1)	4 (0)	1 (7)									8 (32)
	合計	3 (1)	1 (1)	4 (0)	1 (7)									9 (33)
	累計	3 (1)	4 (2)	8 (2)	9 (9)									-
工 事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)									0 (8)
	2. 負傷事故	2 (0)	8 (3)	6 (4)	4 (7)									20 (59)
	合計	2 (0)	8 (3)	6 (5)	4 (8)									20 (67)
	累計	2 (0)	10 (3)	16 (8)	20 (16)									-
合 計	1. 死亡事故	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (1)									1 (9)
	2. 負傷事故	5 (1)	8 (4)	10 (4)	5 (14)									28 (91)
	合計	5 (1)	9 (4)	10 (5)	5 (15)									29 (100)
	累計	5 (1)	14 (5)	24 (10)	29 (25)									-

※下段()書きは前年度(令和7年度)の値
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.維持管理作業事故 (令和8年7月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)									1 (1)
	2. 政令市	3 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (2)									5 (2)
	3. 一般市	0 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (4)									2 (6)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)									1 (0)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	合計	3 (1)	1 (1)	4 (0)	1 (7)									9 (9)
発生施設	1. 管渠	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)									0 (2)
	2. マンホール	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (1)									2 (1)
	3. 処理場	2 (1)	0 (1)	3 (0)	0 (1)									5 (3)
	4. ポンプ場	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (3)									1 (3)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)									1 (0)
	合計	3 (1)	1 (1)	4 (0)	1 (7)									9 (9)
事故類型	死亡事故	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)									1 (0)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	14. その他	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)									1 (0)
	負傷事故	3 (1)	0 (1)	4 (0)	1 (7)									8 (9)
	1. 墜落・転落	1 (0)	0 (1)	2 (0)	0 (2)									3 3
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)									0 1
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)									0 1
	4. 切れ・こすれ	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)									2 1
	5. 転倒	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)									2 0
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 0
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 0
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 0
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 0
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 0
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 0
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)									1 0
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 0
	14. その他	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)									0 3
	合計	3 (1)	1 (1)	4 (0)	1 (7)									9 (9)
被災者数	1. 自治体職員	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)									1 0
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 0
	②負傷	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)									1 0
	2. 委託先業者	3 (2)	2 (1)	3 (0)	0 (7)									8 10
	①死亡	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)									2 0
	②負傷	3 (2)	0 (1)	3 (0)	0 (7)									6 10
	3. 第三者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)									1 2
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 0
	②負傷	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)									1 2
	合計	3 (2)	2 (1)	4 (0)	1 (9)									10 (12)
	累計	3 (2)	5 (3)	9 (3)	10 (12)									- -

※()書きは、前年度(令和7年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

維持管理作業事故情報データベース

令和8年7月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者			
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況
7月										
1	R8.7.18	一般市	その他	⑫公衆災害 (人身)	下水道本管清掃作業中、封水破封事故防止のため清掃中隣接家屋の最終樹の蓋を外し、注意喚起のためカラーコーンを設置し解放していたが、隣接家屋に回覧板を届けに来た近隣住民が清掃作業に気を取られ、カラーコーンは認識していたが最終樹には気づかずに足を落とし転倒、足を負傷した。	最終樹の開放部養生がカラーコーンのみであり、第三者の立ち入りや転倒を完璧に防止できるものではなかった。開放部はカラーコーンだけでなく、バリケード、解放部ガード等を使用し、第三者が容易に近づけない状態を確保する。	一般人	70代	女	足の骨折

:死亡事故

:負傷事故

3.工事事故
(令和8年7月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	2 (2)	3 (1)	5 (1)	1 (3)									11 (7)
	2. 政令市	1 (0)	1 (3)	0 (2)	3 (2)									5 (7)
	3. 一般市	1 (0)	4 (1)	2 (2)	5 (6)									12 (9)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)									0 (1)
	5. その他	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)									1 (1)
	合計	4 (2)	9 (6)	7 (6)	9 (11)									29 (25)
工事分類	1. 管きょ開削	2 (2)	2 (4)	3 (2)	7 (6)									14 (14)
	2. 管きょ推進	0 (0)	1 (0)	0 (1)	2 (2)									3 (3)
	3. 管きょシールド	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)									1 (0)
	4. 管きょその他	0 (0)	3 (1)	1 (1)	0 (0)									4 (2)
	5. 処ボ土木建築	1 (0)	1 (1)	0 (2)	0 (1)									2 (4)
	6. 処ボ機械電気	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (1)									3 (1)
	7. 処ボその他	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (1)									2 (1)
	合計	4 (2)	9 (6)	7 (6)	9 (11)									29 (25)
事故類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)									0 (8)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)									0 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)									0 (1)
	負傷事故	2 (0)	8 (3)	6 (4)	4 (7)									20 (14)
	1. 墜落・転落	1 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (1)									2 (2)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	1 (1)	3 (0)	0 (2)									4 (3)
	3. 飛来・落下	0 (0)	2 (0)	1 (1)	1 (4)									4 (5)
	4. 切れ・こすれ	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)									2 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)									1 (1)
	6. 激突	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)									1 (1)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)									1 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)									0 (1)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)									5 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)									0 (1)
	物損事故	2 (2)	1 (3)	1 (1)	5 (3)									9 (9)
	12-2. 公衆災害(物損)	2 (2)	1 (3)	1 (1)	5 (3)									9 (9)
	合計	4 (4)	9 (6)	7 (6)	9 (11)									29 (27)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数	1. 死亡	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)									0 (2)
	2. 負傷	2 (0)	8 (3)	6 (6)	4 (8)									20 (17)
	合計	2 (0)	8 (3)	6 (7)	4 (9)									20 (19)
	累計	2 (0)	10 (3)	16 (10)	20 (19)									- -

※()書きは、前年度(令和7年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

工事事故情報データベース

令和8年7月末時点

No.	発生年月日	工事情報			事故情報			被害者状況		
		事業主体	工事分類	従事作業	事故概要	発生場所	事故類型	年齢	性別	被害状況
7月										
1	R8.7.3	2.政令市	1.管きょ開削	開削工	下水道取付管布設工事のため掘削を行っていた際に、バックホウによりガスφ30mm供給管（1戸分）を毀損。	現場内	12-2.公衆災害（物損）			
2	R8.7.6	1.都道府県	1.管きょ開削	開削工	公共ます及び取付管布設の為、車道（AS20型）にて掘削作業を進めていたところ、暗渠（未使用）が露出し、バックホウで撤去したところ、バケットの刃が暗渠の下に敷設されていたガス供給管φ25mmに接触し、損傷させてしまった。	現場内	12-2.公衆災害（物損）			
3	R8.7.7	3.一般市	1.管きょ開削	補助工	函渠への取付管VP φ300の管口補修作業中、突出部をサンダーで切断した後、工具使用者が刃の完全停止を確認する前に後方へ振り向いた際、後方付近にいた罹災者の左上腕部へサンダーの刃が接触した。	現場内	4.切れ・こすれ	42	男	左上腕切創
4	R8.7.10	3.一般市	1.管きょ開削	開削工	簡易土留めを設置し、2段目設置の前に、掘削内部に入り支障物の除去を行っていたところ、土留め設置前の上段部分より土砂が崩落し、作業員に当たった。	現場内	7.土砂崩壊	54	男	背中、腰あたりの骨折
5	R8.7.14	2.政令市	1.管きょ開削	開削工	公共ます設置工事に伴う開削作業を実施中、バックホウで閉塞しているガス管に接触してしまい、亀裂を生じさせた。これによりガス漏れが発生した。	現場内	12-2.公衆災害（物損）			
6	R8.7.14	2.政令市	1.管きょ開削	開削工	車道上で舗装本復旧の準備作業として、舗装切断作業を行っていたところ、舗装下5cm程度に埋設されていたガス管を切断したもの。ガスの臭い及び音によりガス管の切断を確認した。	現場内	12-2.公衆災害（物損）			
7	R8.7.28	3.一般市	2.管きょ推進	推進工	立坑付近の薬液注入工において、ロッドを差し込み注入開始時にガスの臭気及び漏れる音を施工者が感じたため作業を中止し、掘削・調査した結果、ガス管の損傷が発覚した。施工者がガイドパイプの高さを誤り設置したため、その下にあるガス管に気づかず、ロッドを挿し込み損傷させた。	現場内	12-2.公衆災害（物損）			
8	R8.7.29	3.一般市	2.管きょ推進	推進工	ライナープレート式発達立坑底部にて人力ブレーカーを用いたコンクリート殻破碎作業に従事していた。コンクリート殻に噛み込んだブレーカーを引き抜こうとした際にバランスを崩して転倒した。	現場内	5.転倒	37	男	左足大腿骨骨折他5箇所骨折
9	R8.7.31	3.一般市	1.管きょ開削	推進工	現場近くの土場に軽量鋼矢板をダンプに積み込む作業中、軽量鋼矢板を吊っていた際、バランスが崩れ、軽量鋼矢板が落下し、被災者の左ひざに当たり半月板骨折のけがをしたもの	現場内	3.飛来・落下	64	男	左ひざ半月板骨折（全治1か月）

:死亡事故

:負傷事故

:物損事故

4.水質事故等
(令和8年7月末時点)

[総括]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等 合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)	2 (9)									16 (13)
	累計	5 (2)	9 (3)	14 (4)	16 (13)									- -

[内訳]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (1)									1 3
	2. 政令市	2 (0)	3 (0)	0 (1)	0 (1)									5 4
	3. 一般市	3 (1)	1 (1)	3 (0)	0 (7)									7 17
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)									2 6
	5. その他	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)									1 0
	合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)	2 (9)									16 (30)
発生施設	1. 管渠	1 (0)	0 (0)	4 (1)	1 (2)									6 6
	2. マンホール	0 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (2)									4 5
	3. 処理場	4 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (3)									5 9
	4. ポンプ場	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (2)									1 4
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 0
	合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)	2 (9)									16 (24)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	4 (1)	3 (0)	5 (0)	1 (6)									13 13
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	1 (1)									1 6
	3. その他(天災、原因者不明含む)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (2)									2 5
	合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)	2 (9)									16 (24)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)									1 5
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 0
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)									2 4
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)									1 4
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	2 (1)	3 (0)	4 (0)	2 (5)									11 11
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 0
	水質事故 合計	5 (2)	3 (1)	5 (1)	2 (9)									15 (13)
	その他案件	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)									1 (0)
	水質事故等 合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)	2 (9)									16 (13)
状況分類	① 耐用年数経過	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)									1 (2)
	② 耐用年数以内	1 (0)	2 (0)	4 (0)	0 (2)									7 (2)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)									1 (0)
	④ その他	3 (1)	2 (1)	0 (1)	2 (6)									7 (9)
	合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)	2 (9)									16 (13)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※()書きは、前年度(令和7年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

令和8年7月末時点

NO.	発生年月日	事故情報				事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	事故への対応	
7月							
1	R8.7.9	4.町村	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	圧送管に設置されている空気抜き弁が劣化し、空気吐出口から汚水が漏れて溢水した	圧送管空気抜き弁の修繕、当該弁の点検頻度検討
2	R8.7.22	4.町村	マンホール	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	電力会社の実施する電線の点検の際に、電力会社側で非常用自家発電機を用意し、マンホールポンプの電源を自家発に切り替え後、停電とするものを、電源の切り替え前に停電してしまい、下水を圧送できずにマンホールから道路雨水の排水路へ下水が流出した。	電力会社に再発防止策を要求中